

茨城県の農林水産業の概要

特徴・取組

茨城県は、東京から北東40～160kmに位置し、県北地域の一部を除いて平坦であり耕地は広大である。また、太平洋に面する長い海岸線と、琵琶湖に次いで全国で2番目に大きな湖である霞ヶ浦を有している。

気候は温暖で様々な植物の南限と北限の境になっている。このような気象条件等を生かし、数多くの農林水産物が生産されている。

茨城県は、農業はもとより、広大な土地と首都圏に近い等の恵まれた条件により、大手食品製造企業（加工食品、飲料等）をはじめ、非鉄金属（電線やケーブル等）、電気機械（発電機等）、化学産業（石油化学製品等）、鉄鋼等を中心とした製造業が盛んであり、製造製品の出荷額で全国第7位の工業県となっている。

令和2年の農業産出額は全国第3位で、東京都中央卸売市場における県産品の青果物取扱高は平成16年から18年連続第1位である。れんこん、みずな、はくさい、ちんげんさい、メロン、ピーマン、くり、こまつな、鶏卵、かんしょ、米など生産量で全国の上位を占める農畜産物が多い。

地理的表示（GI）保護制度については、「江戸崎かぼちゃ」「飯沼栗」「水戸の柔甘ねぎ（みとのやわらかねぎ）」「奥久慈しゃも」が登録されている。

林業は、県北部の山間地域を中心に、主として、すぎ、ひのきの木材生産が行われている。

水産業は、黒潮と親潮が交わる茨城沖が好漁場となっており、いわし、ひらめ、さば等を主体に多様な魚介類が水揚げされている。

茨城県では、儲かる農業を実現するため、国内外で需要が拡大しているかんしょの生産拡大や、牛肉「常陸牛」のブランド力向上と儲かる経営体の育成に向けた、和牛繁殖雌牛の増頭や能力向上の支援に取り組んでいる。また、トップブランドとしては、なし「恵水」及び豚肉「常陸の輝き」などを育成し重点的にPRしている。

令和2年の茨城県農産物の輸出額は、前年度と比べて約15%増の7億3,740万円で、畜産物のうち常陸牛は、タイ・ベトナムを中心に新型コロナウイルス感染症拡大に伴う飲食店の営業規制により大きく落ち込んだものの、青果物及び米は、アジアや北米での底堅い需要を背景に、輸出が順調に拡大した。

主な農林水産物

れんこん

霞ヶ浦周辺で広域に栽培されており、収穫量は全国の約5割を占める。
(収穫量全国1位)



みずな

鹿行(ろっこう)地域を中心に県内全域から周年出荷されている。収穫量は全国の約5割を占める。
(収穫量全国1位)



はくさい

県西地域を中心に栽培されており、秋冬から春まで長期間出荷されている。
(収穫量全国1位)



ピーマン

温暖な気候と水はけの良い土壤に恵まれた鹿行地域を中心に周年出荷されている。
(収穫量全国1位)



くり

県央・県南地域が主産地。低温熟成し、甘みを増した貯蔵栗も出荷されている。
(収穫量全国1位)



メロン

鹿行地域を中心に、多彩な品種が栽培され、アジアを中心に輸出されている。
(収穫量全国1位)



鶏卵

古くから養鶏産業が盛んで、全国でも有数の産地となっている。
(生産量全国1位)



かんしょ

水はけの良い平坦な地域を中心に栽培され、加工品を中心に国内外での需要が増加している。
(収穫量全国2位)



ひらめ

茨城県のさかなとして選定されており、肉厚で脂質の量が最大の冬(12～2月)が旬となる。
(漁獲量全国7位)



米

全国有数の産地で、近年、県が育成した新品種ふくまの生産拡大に取り組んでいる。
(収穫量全国7位)



茨 城 県 の 農 業 (1)

- ・ 耕地面積は16万2,300haで、北海道、新潟に次いで全国第3位。
- ・ 農業経営体数は4万4,852経営体で全国第1位。総農家数は7万1,761戸で、長野県に次いで2位。
- ・ 基幹的農業従事者数は、男3万4,390人(全国第2位)、女2万3,106人(3位)。
- ・ 65歳以上は4万146人で、長野県に次いで第2位。

耕地面積

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
耕地面積	162,300 ha	4,349,000 ha	3
田	95,300 ha	2,366,000 ha	6
畑	67,000 ha	1,983,000 ha	4
普通畑	60,600 ha	1,126,000 ha	3
樹園地	5,970 ha	263,200 ha	12
牧草地	376 ha	593,400 ha	26
参考) 総土地面積	609,724 ha	37,797,463 ha	24

出典:「令和3年耕地面積(7月15日現在)」、「令和3年全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	11,393 ha	281,831 ha	8

出典:「令和2年の都道府県別の荒廃農地面積」

担い手への農地の集積状況

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	60,671 ha	2,535,115 ha	9
集積率	37.1 %	58.0 %	27

出典:「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和2年度版)」

注: 農地中間管理機構を介さないものを含む。
令和3年3月末の数値である。

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
農業経営体数	44,852 経営体	1,075,705 経営体	1
法人経営体	770 経営体	30,707 経営体	9
総農家数	71,761 戸	1,747,079 戸	2
販売農家	43,920 戸	1,027,892 戸	1
参考) 世帯総数	1,184,133 世帯	55,830,154 世帯	13
集落営農数	140 集落営農	14,490 集落営農	30

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「集落営農実態調査(令和3年2月1日現在)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	57,496 人	1,363,038 人	2
男	34,390 人	822,144 人	2
女	23,106 人	540,894 人	3
65歳以上	40,146 人	948,621 人	2
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	69.8 %	69.6 %	-
認定農業者数	8,478 経営体	233,806 経営体	7
法人数	696 法人	26,080 法人	13
参考) 総人口数	2,867,009 人	126,146,099 人	11

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

茨 城 県 の 農 業 (2)

- ・ 農業産出額は4,417億円で、北海道、鹿児島に次いで全国第3位。上位5品目は野菜、米、鶏卵、豚、いも類（かんしょ）。
- ・ 農畜産物の生産状況は、れんこん、はくさい、こまつな、ちんげんさい、みずな、カリフラワー、ピーマン、メロン、くり及び鶏卵が全国第1位。レタス、かんしょの生産量は2位。
- ・ 農業者等による生産関連事業は、農産物直売所の年間販売金額が372億5,000万円で全国第7位。

農業産出額

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
農業産出額	4,417 億円	89,557 億円	3
米	756 億円	16,551 億円	7
麦類	6 億円	521 億円	11 *
雑穀	5 億円	77 億円	4
豆類	15 億円	712 億円	9
いも類	362 億円	2,391 億円	2
野菜	1,645 億円	22,520 億円	2
果実	97 億円	8,741 億円	22
花き	145 億円	3,080 億円	6
工芸農作物	8 億円	1,553 億円	21
その他作物	16 億円	697 億円	11 *
畜産	1,270 億円	32,279 億円	5
肉用牛	150 億円	6,863 億円	12
乳用牛	211 億円	9,310 億円	8
生乳	193 億円	7,798 億円	7
豚	397 億円	6,596 億円	6
鶏	509 億円	8,724 億円	4
鶏卵	452 億円	4,577 億円	1
ブロイラー	37 億円	3,621 億円	18 *
その他畜産物	2 億円	787 億円	25
加工農産物	92 億円	436 億円	1

出典：「令和2年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

農畜産物の生産状況

区 分	年次	茨 城 県	全 国	全国順位	
れんこん	収穫量	R2	28,600 t	55,000 t	1
はくさい	収穫量	R2	243,900 t	892,300 t	1
こまつな	収穫量	R2	24,700 t	121,900 t	1
ちんげんさい	収穫量	R2	11,800 t	41,400 t	1
みずな	収穫量	R2	22,500 t	43,800 t	1
カリフラワー	収穫量	R2	2,540 t	21,000 t	1
レタス	収穫量	R2	91,700 t	563,900 t	2
ピーマン	収穫量	R2	32,500 t	143,100 t	1
メロン	収穫量	R2	33,500 t	147,900 t	1
くり	収穫量	R2	3,790 t	16,900 t	1
かんしょ	収穫量	R3	189,200 t	671,900 t	2
鶏卵	生産量	R2	232,686 t	2,632,882 t	1

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「畜産物流通統計」

農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位	
農産物直売所	総額	37,250 百万円	1,053,366 百万円	7
	事業体数	670 事業体	23,650 事業体	10
農産加工	総額	11,707 百万円	946,841 百万円	25
	事業体数	1,370 事業体	32,400 事業体	3
観光農園	総額	1,325 百万円	35,943 百万円	10
	経営体数	210 経営体	5,290 経営体	7

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

茨 城 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は69.9億円で全国第20位。産出額の内訳は、木材生産が39.2億円、栽培きのこ類生産が30.4億円。
- ・ 林産物の生産状況は、ひらたけ、ぶなしめじ、乾きくらげ類、生きくらげ類が全国第4位、まいたけが11位。
- ・ 製材工場数は98工場で全国第18位。国産材のみの工場は83工場で16位。

林野面積

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
林野面積	198,682 ha	24,770,201 ha	39
国有林	44,001 ha	7,153,338 ha	21
民有林	154,681 ha	17,616,863 ha	39
人工林面積	111,106 ha	10,203,842 ha	35

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況(平成29年3月31日現在)」

林業経営体数

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
林業経営体数	407 経営体	34,001 経営体	30
法人経営体	39 経営体	4,093 経営体	36

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業産出額

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
林業産出額	69.9 億円	4,286.4 億円	20
木材生産	39.2 億円	1,943.7 億円	18
栽培きのこ類生産	30.4 億円	2,259.6 億円	20

出典：「令和2年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

林産物の生産状況

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
素材生産量	423 千m ³	19,882 千m ³	16
針葉樹	387 千m ³	18,037 千m ³	15
あかまつ・くろまつ	4 千m ³	570 千m ³	15
すぎ	294 千m ³	11,663 千m ³	12
広葉樹	36 千m ³	1,845 千m ³	13
ひらたけ	生産量 292.3 t	3,823.6 t	4 *
ぶなしめじ	生産量 3,760.7 t	122,802.2 t	4 *
まいたけ	生産量 182.5 t	54,993.4 t	11 *
乾きくらげ類	生産量 10.5 t	142.3 t	4 *
生きくらげ類	生産量 145.2 t	1,708.9 t	4 *

出典：「令和2年木材需給報告書」、「令和2年特用林産基礎資料」

注：「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

製材工場数

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
工場数	98 工場	4,115 工場	18
製材用素材の入荷があった工場数	93 工場	4,067 工場	20
国産材のみ	83 工場	3,237 工場	16
国産材と輸入材	9 工場	653 工場	31

出典：「令和2年木材需給報告書」

令和4年3月10日時点における最新の統計等の公表データを使用

茨 城 県 の 漁 業

- ・海面漁業・養殖業産出額は218億円で全国第19位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業漁獲量では全国第2位、まいわし、さば類が1位。内水面漁業漁獲量ではえび類、内水面養殖業収穫量ではこいがそれぞれ1位。
- ・漁業者等による生産関連事業は、水産加工の年間販売金額が42億4,300万円で全国第11位。

漁船隻数

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
漁船隻数	465 隻	132,201 隻	37
動力漁船	371 隻	69,920 隻	35

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

注：漁船隻数は、海面漁業経営体が漁業生産のために使用した漁船の数である。

漁業経営体数

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	343 経営体	79,067 経営体	37
内水面漁業経営体数	288 経営体	4,772 経営体	5

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	1,194 人	151,701 人	32
男	1,132 人	134,186 人	31
女	62 人	17,515 人	32

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業産出額

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	218 億円	13,484 億円	19

出典：「令和元年漁業産出額」

水産物の生産状況

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	x t	4,182,983 t	- *
海面漁業漁獲量	302,213 t	3,213,334 t	2
まいわし	223,966 t	698,359 t	1
さば類	63,223 t	389,750 t	1
海面養殖業収穫量	x t	969,649 t	- *
内水面漁業・養殖業生産量	3,358 t	50,832 t	5 *
内水面漁業漁獲量	2,438 t	21,745 t	4 *
えび類	89 t	198 t	1 *
内水面養殖業収穫量	920 t	29,087 t	9 *
こい	812 t	2,247 t	1 *

出典：「令和2年漁業・養殖業生産統計」

注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。

2 「*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	茨 城 県	全 国	全国順位	
水産加工	総額	4,243 百万円	175,132 百万円	11
	事業体数	0 事業体	1,500 事業体	38

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

茨城県の農林水産業の話題等（1）

所得向上のため誰もが認めるトップブランドを育成

牛肉「常陸牛」、豚肉「常陸の輝き」、なし「恵水」、栗及びメロン「イバラキング」の5品目について、常陸牛は全国のホテルに向けて他の銘柄牛と酒を組み合わせたフェアの提案、常陸の輝きはブランド豚としてのイメージ作り、恵水は「幻の恵水の樹」を選定し「幻の恵水」ストーリーの強化、栗は宝石店等におけるマロングラッセの販売、「イバラキング」は「キング」にちなんだシリーズ化によるセット販売など、話題となる取組を推進し、メディア露出を図ることでブランドの確立につなげる。

また、5品目に絞り込み、高級店での取扱いを推進することで、ブランド力強化を図り、儲かる農業に寄与する。

牛肉「常陸牛」を対象にブランド力向上と儲かる経営体を育成するため、和牛繁殖雌牛の増頭や能力向上への取組を支援しているほか、平成26年から輸出を開始し、平成30年には米国への輸出拡大に向けたトップセール等の販促活動を展開。世界トップブランドを目指して、戦略的に販路拡大を進めている。

また、これまでのトップブランド化の取組の成果を生かし、新たに生産量日本一である「栗」の高付加価値な加工品のブランド化などを推進している。

「いばらき農林水産物ブランド確立PR事業（新規）31百万円（令和4年度当初予算額）」

儲かる農業の実現を後押し、差別化等取組の推進

茨城県は令和2年の農業産出額が全国第3位の屈指の農業県であり、かんしょやメロン、れんこん、ピーマンなど、産出額が全国上位の品目を数多く生産している。そのような中、県では農業経営の規模にかかわらず、意欲ある農業者に対して生産性の向上や付加価値の向上、販路開拓の取組を支援している。

これまで、儲かる農業の実現に向け、規模拡大により所得向上を目指す担い手等を対象とした独自施策（水稲メガファーム事業、かんしょトップランナー事業、リーディングアグリプレーヤー事業など）を展開し、農地の確保や生産機械等の整備、加工業者・輸出業者等とのマッチング等、農家支援策を拡充しながら生産拡大を重点的に支援している。

また、本県の主要な露地野菜であるれんこん、はくさい、キャベツについて、実需者や消費者から選ばれる産地になるよう、差別化した商品づくりや需要がある品目への転換、最新のデジタル技術を活用した高精度な出荷予測の導入等の革新的な取組を支援することとしている。

「露地野菜産地イノベーション推進事業（新規）102百万円（令和3年度補正予算額）」



牛肉「常陸牛」

指定生産者の磨かれた飼育管理技術と厳選された飼料により、約30か月間育てられた黒毛和牛の中から、食肉取引規格A、Bの4と5等級に格付けされた最高級ブランド。北米や東南アジア（ベトナム、タイ、シンガポール）や米国にも輸出展開。



なし「恵水」

茨城県のオリジナル品種で、糖度は高く、酸味が少ない。冷蔵すると日持ちが良いのも特長。



豚肉「常陸の輝き」

茨城県で開発した「ローズD-1」を父にもつ銘柄豚。専用飼料を給与し、柔らかく風味豊かな肉質を実現。



メロン「イバラキング」

茨城県が開発したオリジナル品種。全国一のメロン生産量を誇る茨城県の「メロンの王様(キング)」として茨城の顔になってほしい」との願いを込めて命名。糖度は主力品種と同等に高く、さわやかな甘さと滑らかな肉質が特徴。



茨城県の農林水産業の話題等（2）

水田農業の所得向上モデルとして集約化を推進

「儲かる農業」の実現に向けて、大規模経営による収益性の高い水稲農業モデルの育成のため、「茨城モデル水稲メガファーム育成事業」に取り組み、公募により選定した4地区（稲敷市・河内町・結城市・潮来市）の農業法人等に対し、農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化及びICT等先端技術の導入等を支援し、短期間での100ha超の大規模水稲経営体（水稲メガファーム）育成に取り組んできた。平成30年度から関係機関と事業を推進し、令和2年度には稲敷市、令和3年度には河内町・結城市で100ha超の集積を達成した。内容としては、農地の集積・集約化と併せて品種構成を見直した栽培計画の策定・実践や、隣り合うほ場のあぜ抜きによる区画拡大等を図ることで作業の効率化を進め、急速な規模拡大に対応しながら100ha超の規模拡大を実現している。また、農林水産省の「スマート農業実証プロジェクト」に参加し、自動運転田植機やロボットトラクタなどの実証実験に取り組むなど、新たな技術導入による省力化に取り組んでいる。

更なる農業の成長産業化を目指し、茨城モデル水稲メガファーム育成事業を再編して、水田農業の所得向上モデルとして集約化に重点を置いた大規模水田経営体（100ha規模）を短期間で育成することとしている。

「農地集約型大規模水田経営体育成加速化事業（新規）144百万円（令和4年度当初予算額）」



大規模でモデル的な有機農業の取組

令和元年度から県北地域において、大規模でモデル的な有機農業の取組を支援するため、「いばらきオーガニックステップアップ事業」を実施しており、大規模有機モデル団地の整備を図るほか、地域の方が有機農業への理解を深め有機農業者との交流を図る産地見学会の開催や有機農業を目指す農業者等を対象とした技術検討会を実施し、県北地域での有機農業の取組を推進している。

今後も県北地域における大規模有機モデル団地の整備を支援するとともに、有機農産物の需要と生産を拡大するための体制づくりを行い、あわせて、有機農業の拠点として積極的に取り組む市町村を支援する。

「いばらきオーガニックステップアップ事業 119百万円（令和4年度当初予算額）」

